
転生して...どうなるんですか？

漆黒の闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生して…どうなるんですか？

【Nコード】

N4873M

【作者名】

漆黒の闇

【あらすじ】

突然ブラックホールに巻き込まれてしまった主人公（外見美少女の男の娘）これから少年？の転生物語が始まる。

最初はとある魔術の禁書目録でいきます。

注意：この作品は主人公最強系です。そして作者の初投稿＆処女作です。長く温かい目で見守ってください。

第1話 エピソード（前書き）

はじめまして、漆黒の闇と申します。

第1話 エピローグ

第1話 エピローグ

あるところに少年が商店街を歩いていました。

そしてブラックホールにのまれました。まる。

「なんでですか!!?」

「ふおっ!?!」

「???」

「ど、どうしたのかの?御主はなぜこのようところに」

「な、なぜかと言わ」「ゼウス様〜」「…」

私の声が遮られ小さな女の子(幼女?)が走って来ました。

「なんじゃ?」

「こちらに少年が…きません…でし…た？…」

「そいつはこやつかの？」

「ああそうです。…あのすいませんでした」

小さな女の子（幼女？） ああもういいや幼女で…でその幼女がいきなり頭を下げてきた。

「どうしたんじゃ、何か問題でもあったのかのう」

「あ、あのう〜じ、実はその〜その少年？の事を間違えて殺してしまってます…」

「なに！？そのようなことが！？何をやっておるのじゃ！！そして少年？よ悪かったのじゃ」

そいつってこちらに向き直り頭を下げてきた。

「なんの事ですか？そして少年…の後の？はなんですか？」

「ああすまんの詳しいことは僕は分からんからのうこの僕の部下に聞いてくれ…そして少年…の後の？はのう男に見えぬからじゃよ」

「そ、っそうですか」

「あつえつと〜それですなあなたが死んだのは…」

〜〜少女説明中〜〜

とゆうことで少女の説明によるとこついう事らしい

- ・あの最初に出てきたお爺さん？がゼウスという神様らしい
- ・あの少女…は天使らしい
- ・私は間違えて殺されたらしい
- ・元の世界には生き返れないから転生するらしい
- ・あのブラックホール？は見た目のままブラックホールで間違えて出してしまつて死んだのが私だけらしい
- ・元の世界には返れない

この5つが分かった事だ

「それで、私は地獄に行くのですか天国に行くのですか？」

「あれっお、怒らないのですか？」

「それは人間でも天使でも間違えることはありません。できれば生きていたかったです…」

「それは本当ですいませんでした！ですがあなたはここでは死にません転生をしてもらいます」

「転生…ですか」

「そうじゃのお、そしてここからは儂が話をするとするかのお」

「はい、お願いします」

「まず1つ目じゃ、御主の行く世界じゃな…とある魔術の禁書目録
Fate/stay night リリカルなのは この3つに
行ってもらおうかのう」

「えっとそれは3つの物語が混ざった世界ですか？」

「違うぞい、別々の世界じゃ」

「えっ、でもそれじゃあ…」

「ああ、それは大丈夫じゃ、このネックレスで行き来できるように
するからの」

「そうですか…2つ目は何でしょう」

「そうじゃな2つ目は能力そして名前じゃ、能力のほうはあっちの
世界で生きるため、もちろん原作などは無視してよいぞ！名前はの
う、もといいた世界もとい君が死んだ世界で使っていた名前は使えん
からの考えてくれ」

「分かりました、それでは能力のほうはお任せするので名前は、この柁
棗なつめでお願いします」

「話はこれで以上じゃ質問はあるかの？それとのう最初に行く世界

はとあるの世界にしといたからのっ」

「いえ、特にありません」

「それじゃあのうたっしやでの」

「はい」

シュン

おまけ

「わ、私は空気ですか~~~~~」

1人叫んだ天使がいたとかいないとか

第1話 エピソード(後書き)

これから、よろしく願います

第2話 主人公説明＋能力（前書き）

連投です誤字脱字などありましたら報告をいただけるとありがたいです

第2話 主人公説明 + 能力

第2話 主人公説明 + 能力

闇「今回はタイトル通りの事をしたいと思います」

棗「そうですか…」

闇「テンション低いね主人公!!」

棗「そういうあなたはテンションが高いですね」

闇「そりゃそうですね、初投稿だよ？処女作なんだよ？」

棗「そうですか、では説明に行きましょう」

闇「うん」

名前 柊 棗
ひらき せう

年齢???? (作品によって変わる、自分で変えることもできる) 歳

身長 年齢相応 cm

生年月日 12月25日

性格 大体冷静、時々感情的になる。

好きなもの 気に入った人、自分の事を男だと思っている人、親しい人、おもしろい人

嫌いなもの 疲れる人、

特技 家事全般、

容姿 白髪 瞳は紅眼 アキカンのエールのような感じ髪型はエールとは違い膝裏ぐらいまである

棗「オレってこんな感じなのか？」

闇「おいついまさら一人称と言葉遣い変えても遅いぞ」

棗「そ、そんなことないぜつま、まっだまにあうんだぜ」

闇「言葉遣いがおかしいよ？それに第1話の時点でもうアウト〜だから」

棗「そ…そんな」

闇「残念賞」

闇「ま、こいつはほつといて次に能力だ（fate風な、ね？）」

筋力	EX
耐久	EX
敏捷	EX
魔力	EX
幸運	EX
宝具	EX
保有スキル	

創造

その名のとおりFateの投影魔術に近いが魔力供給がなくてもちやんと実物が残る。技も創造で作り出せる。

ボディカスタマイズ

その名のとおり自分の体をカスタマイズできるまあぶつちやけると上のすべてEXなのはこのスキルのせい。やろつと思えば性転換もできるらしいが……。

???

ほかにも能力があるらしい…。

闇「おい、棗！？いいかげん戻って来い」ガシッ 棗の肩をつかんだ音

棗 ドンッゴキッ 作者を突き飛ばして関節技を決めた音「なんでしようか？」

闇「やめて!!！」

棗「な！ん！で！こんなことになったんですか!？」

闇「いや〜チートが好きならもんでっアガッ」ゴキ 骨がはずされた音

棗「そうじゃない、性転換をな！ぜ！できるようにしたのかと聞いている」

闇「いやっだからやめて〜〜〜」

棗「なぜだと聞いているので答えてください!!！」

闇「怒らない??？」

棗「ええ、怒りませんよ？」

闇「なぜ疑問系??？」

棗「いいから言いなさい!!！」

闇「あっはい」

闇「なんか…おもs」ガシッ バキッ ドゴーーーーーン

棗「こうして作者は死にました」

棗「それでは作者が死んだので次回はたぶんないとおもいますので
それでは」

闇「僕は死にましえーんっ」ガッ
とどめ

第2話 主人公説明＋能力（後書き）

がんばりました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4873m/>

転生して...どうなるんですか？

2010年10月9日07時23分発行